

秋季特別研修会「荒川おもしろ税ミナール」開催される



久保税務署長

去る11月9日(水)、ムーブ町屋に於きまして「税を考える週間」の一環として秋季特別研修会「荒川おもしろ税ミナール」が開催されました。

当日は中村研修委員長の司会により開会され、伊澤会長の挨拶の後、第一部研修として久保荒川税務署長に「権利救済制度について」と題しましてご講話を頂戴いたしました。はじめに久保署長のご出身地の鹿児島を含めた自己紹介の後、国税に関する不服申立制度の概要や実際の税務訴訟の事例など挙げながら権利救済制度についてわかりやすく解説いただきました。



三橋先生

第二部研修は経世論研究所長の三橋貴明氏に、「日本経済の嘘と真実」という演題でご講演をいただきました。講演会当日がアメリカ大統領選挙の結果が判明した日でもあり、冒頭より大統領選についてのタイムリーな話題から講演が始まりました。そして三橋先生独自の観点からのデフレ問題、国の財政問題、社会保障、安全保障など、今の日本が抱える諸問題を豊富な数学的データを元に読み解き、日本経済の嘘と真実についてテンポよくお話いただきました。

最後に小林研修担当副会長の閉会の挨拶により盛会裏に終了いたしました。

女性部会 研修旅行会

今年も11月22日女性部会研修旅行が香取神宮から佐原市のコースで行われました。

朝夕の冷えこみに冬の到来を実感する今日この頃…バスの中から今、取り沙汰されている豊洲市場を横目で見ながら…早速今回の研修「江戸時代の税の歴史クイズ」から始まりました。年貢は玄米で納入、当時砂糖は輸入品が多くぜいたく品とみなされ課税の対象になりました。酢は明治16年に課税、醤油は江戸時代から税が課せられておりました。

そして初めに向かったのが千葉県にある香取神宮、長い歴史と伝統、立派な鳥居をめぐり参拝すれば、朝の空気のさわやかさが染み入り満足。そして季節がら門前には見事な菊の芸術を鑑賞することが出来充実。

午後からは女性がよろこぶ「道の駅」へ、心がときめく一瞬。

その後、創業文政八年酒作りの「東薫」へ、一步入ったとたん重厚な空気が漂って歴史の重さを感じられました。まさに酒作りは文化、日本の誇りですね。その後一路、伊能忠敬記念館へ、伊能忠敬が亡くなってから来る平成30年は200年の節目の年となります。自国を愛してやまない偉大な精神力を感じることが出来ました。そろそろ夜のとばりが始まる頃、夕食「吉庭」へ、八百坪の日本庭園の中で次々とお料理が運ばれ、まさに至福のとき“女性はおいしいもので繋がっている”というコマーシャルがありましたね。

「心まで暖まる旅をもう一度」 末尾になりましたが皆様方のご健勝とご清栄をお祈りいたします。

女性部会幹事 松澤幸子



香取神宮にて



酒蔵見学の模様